

## 論文概略

論文タイトル	Comparison of seat waist and arm sit-to-stand assistance modalities in elderly population	
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development	
巻号項	Volume 50	Number 6 Page 835
出版年	2013 年	
支援機器	Sit-to-stand(STS)assistance	
分類(ISO9999)	12	
試験相	1	
研究仮説 (目的) の概要	ウエストを座面のアシストモードではすべての測定部位においてわずかな筋出力良い。バーと腕のアシストモードでは、全体的な安定性は良いが、負荷分散対策にほとんど影響しない	
研究デザイン	群内比較 (自己対照)	
障害・疾患	高齢者	
対象者・数	健常者 17 人	
主要アウトカム	静的安定 (c o u) 動的安定 (c o p) 伸筋力	
副次アウトカム 1	主観的選択 (アンケート)	
副次アウトカム 2		
副次アウトカム 3		
副次アウトカム 4		
副次アウトカム 5		
統計学的検定	有	
結果の概要	どのアシストモードでも体幹屈面のピークを除いて有意な変化をもたらした	
論文整理番号	211	※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」  
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究  
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター